

教員用指導案

- ✓ 前回の内容
 - 1. テーマの決定
 - 2. 仮説の検討（ノート p.15 を記入中）

- ✓ 本時の目的
 - 1. 仮説を完成させる
 - 2. 研究手法を調べる

- ✓ 事前連絡（担任から生徒へ）
 - 1. 課題研究メソッド・課題研究ノートを持ってくる
 - 2. 可能であれば、研究に必要な物品の下調べをしておく（計画書を作成する際に役立つ）

- ✓ 当日の配布物・掲示物
 - ✓ 自己評価用ループリック（配布は全員。使うものは 1 枚で、班長のノートの表紙裏にのり付け）
 - ✓ 本校で使える物品一覧（班で 1 枚）
 - ✓ タブレット（班に 1 台）
 - ✓ 生徒配布資料「1 学期中の課題研究スケジュール」（全員）

- ✓ 本時の流れ ※各段階で押さえて頂きたい点を✓で示しました。

導入（5分）

1. タブレットとループリックを配布

『今日の課題研究では、タブレットを用いて必要な情報を集めながら授業を進めます。指示があるまでは電源を入れずにそのまま机の上に置いてください。』

2. ループリックについて説明

✓ ループリックとは

『ループリックとは、学習到達の状況を評価するために用いる評価基準表のことをいいます。仮説検討、計画書作成、研究、調査、、、など課題研究の各ステップにおいて、4 つの段階を設けているので、該当する到達段階に○をつけて自己評価していきます。本日の授業では、「ア.探求課題と仮説」の項目を使用しますので、授業が終わるまでに 1～4 で該当する段階に○をつけてください。』

- ✓ 今後、ループリックは班長のもののみを使用していく（班長のノートにのり付けさせる）

展開1 (15分) 仮説完成

1. 活動④で取り組んだ仮説検討の続きを行う

- ✓ ここからタブレット使用可能
- ✓ ノート p.15 を埋めることが目標
- ✓ 仮説を立てる過程でリサーチクエスチョンが変わった班は、ノート p.15 の下『仮説をひまえて再設定したりリサーチクエスチョン』に記入する

※ インターネットに接続できない班が出た場合は、その班のみコンピューター室に行くよう指示して下さい。その際の監督は副担任の先生お願いします！

2. 班ごとに発表する

- ✓ クラス全体で共有することが目的ですので、発表形式はクラスごとに決めて下さい（口頭、板書、.. etc）
- ✓ 仮説の発表は、できれば根拠とセットで行う
- ✓ 他の班の発表を自分たちの仮説にも生かす

展開2 (25分) 研究手法のまとめ

1. 研究手法を調査

- ✓ タブレット使用可
- ✓ 班長のノート p.22 を記入しながら話し合いを進める
- ✓ 次回の活動⑥も研究手法のまとめを行う（進度が早い班は p.24・25 の実験計画書に入る）

まとめ (5分)

1. ルーブリックによる自己評価をつける

- ✓ 班長のノートにルーブリックを1枚のり付けし、『ア. 探求課題と仮説』の観点に班の評価を記入する（○をつける）。

2. 次回の予告

- ✓ 今回同様、タブレットを使用しながら研究手法をまとめる。進度が早い班については、研究計画書の作成も行う。（ノート p.24・25 を完成させる）

3. 次回の持ち物

- ✓ 課題研究メソッド、課題研究ノート

4. 今後のスケジュールを確認

- ✓ 生徒配布資料「1 学期中の課題研究スケジュール」を配布し、簡単に今後の日程を知らせる（予備実験に向けての準備が必要だと知らせることが目的です）。